

図書館賞

時本 智花(ときもと ちか) みなみ野君田小 4年生

作品名:あきらめない

図書:三年一組、春野先生！

この物語は、春野先生が三週間だけ主人公のクラスに来たところから始まる物語です。わたしがこの本を読もうと思ったきっかけは、お仕事の本にきょうみを持っていて、「先生」という言葉が目に入ってきたからです。春野先生が主人公、しゅんすけのクラスのたんになんだった三週間、しゅんすけは春野先生といろいろな事を学んでいきます。

この物語を読んで心にのこった言葉は春野先生がみんなです。先生がサッカーをしていて、先生のいるチームが負けそうになった時に先生が言った言葉です。その言葉は「あきらめちゃダメ」という言葉です。この言葉が文に出てきた時、わたしは心を打たれました。理由は、もし、自分がその立場だったら、すぐにあきらめてしまうからです。何事も全力でやり切る春野先生は、わたしのクラスのたんになんの先生にいています。わたしのクラスのたんになんの先生もどんな事でも全力でやり切る人です。いつもはやさしく、いけない事をすると本気でしかってくれる、それがわたしのたんになんの先生です。だから春野先生、作者が言いたかったとても大切な事は、あきらめずに全力で練習すると、どんな事でものりこえられるという事だとわたしは思いました。この物語で春野先生も言っていました。「一回やってできなければ十回。十回できなければ百回。百回やってできなければ千回。千回やってできなければもっともっと練習するのっ」と。その言葉を読んだわたしもたくさん練習する事は大切だと思いました。

先週、学校でリレーをやりました。わたしのチームはいつも五チーム中五位で、わたしもチームのみんなもあきらめかけていました。くやしくて、泣きそうにもなりました。でも、春野先生の「あきらめない」という言葉を思い出して、みんなでバトンパスがんばろう、と声をかけ合ったり、何度もパスの練習をしました。そして、最後の体育の時、ミラクルが起きました。チームのみんなで力を合わせて思い切り走り走りました。わたしは今までよりずっと速く走りました。なんと、結果が二位

でした。みんなで手を合わせてとびはねて喜びました。友達もたんにんの先生もよかったねと言ってくれました。この物語でも、「ミラクル、きせきは自分の力でおこすのよ」と春野先生が言っていました。本当にその通りだと思います。練習すればするほど達成感があるし、自分の力になるからです。

この本を読んで、わたしが一番強く思った事は、先生という仕事はすごくいい仕事だという事です。理由はみんなの役に立つ事が出来るからです。春野先生が本当にわたしの心にいるように感じました。だからわたしは、春野先生とたんにんの先生みたいに、やさしくて、何事でも全力でやり切る先生になりたいです。そして、もし、わたしが先生になって今のわたしみたいに思ってくれる人が一人でもいたらすごくうれしいです。わたしは、これから「全力」と「あきらめない」という言葉を伝えていきたいです。そして、春野先生とたんにんの先生の言葉をむねに、がんばっていきたいと思います。